

材料・使用法特許
出願済み

水性塗料の画期的なアイテム

水性アジカスト

|| 水性塗料用 希釈剤・洗浄剤 ||

|| 水性塗料用 希釈剤・洗浄剤 ||

水性アジャスト

「水性アジャスト」は水性塗料の

希釈剤・洗浄剤としてお使いいただけます。

水性塗料との親和性・洗浄性に優れ、

腐敗防止効果も高く

消防法における「非危険物」で保管も容易です。



希釈剤

仕上り性の向上

洗淨剤

作業性の向上

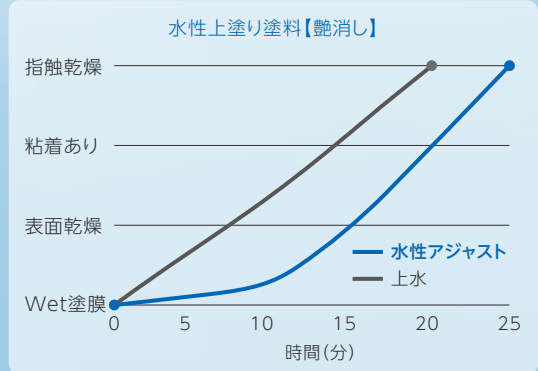
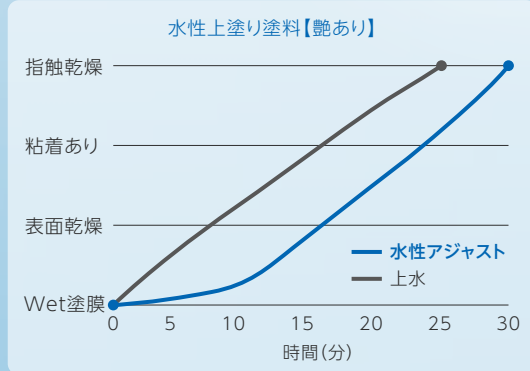


効果および洗淨方法
くわしくは動画をご覧ください。

作業性効果

塗料を「水性アジャスト」で希釈することにより、表面乾燥を若干遅らせることができます。
これにより作業時間の延長が可能になります。

■ 乾燥速度の比較



【試験条件】●乾燥条件:23℃ ●希釈率:5% ●150μm(Wet)75μm(Dry)で塗装した板の指触乾燥状態を確認

■ 乾燥状態の比較

塗装5分毎にラビング試験※を行い、塗膜表面の乾燥状態を比較。 ※塗膜表面を指で擦り表面の乾燥状態を確認する試験。

水性アジャスト



上水



【試験条件】●塗料:アレスダイナミックTOP ●希釈率:5% ●温度:23℃恒温室 ●膜厚:75μm(Wet)で塗装 ※風の当たりにくい箇所です試験

■ 塗り継ぎ比較

水性アジャスト



水性アジャストで希釈すると乾燥が少し遅くなるため、通常の塗装と同じ時間で塗り継いでも肌荒れし難い。

上水



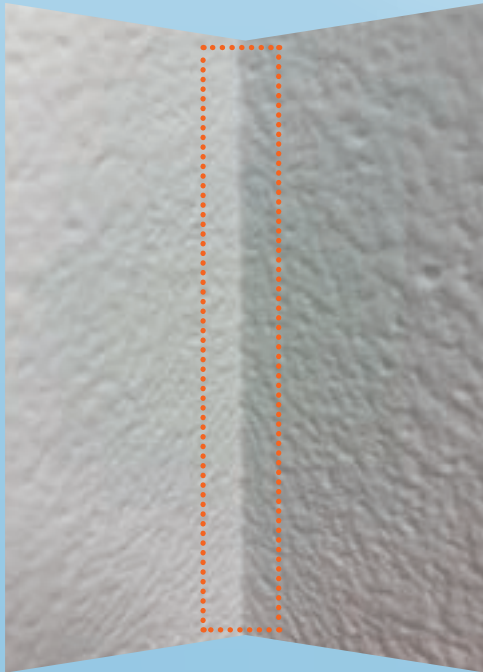
表層が乾き始めてきたタイミングで塗り継ぐと、繋ぎ部分の肌が荒れて模様が合わない。

【塗装条件】●塗料:アレスダイナミックフィラー ●塗装方法:多孔質ローラー ●希釈率3% ●塗装10分後に塗り継ぎ

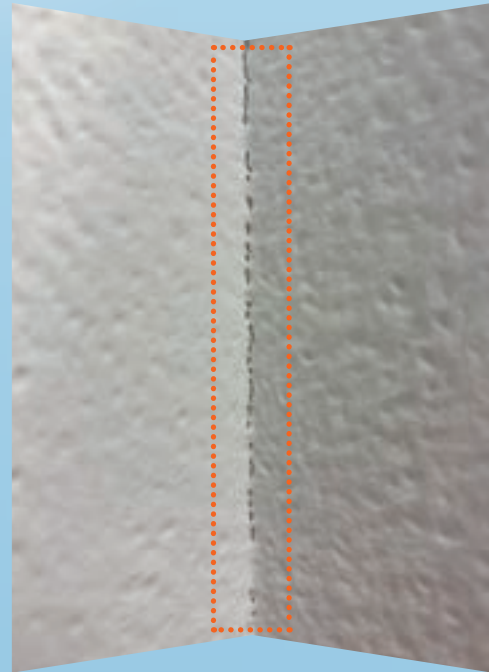
仕上り効果

「水性アジャスト」を希釈剤に使用することにより、
表面乾燥を遅らせ、入り隅など厚膜時での表面ワレを抑制します。

水性アジャスト(希釈4%)



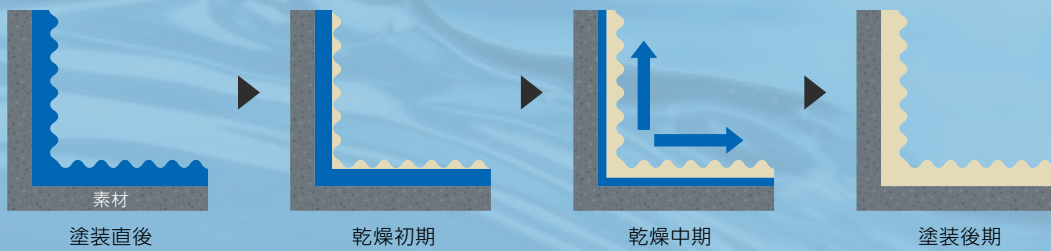
上水(希釈5%)



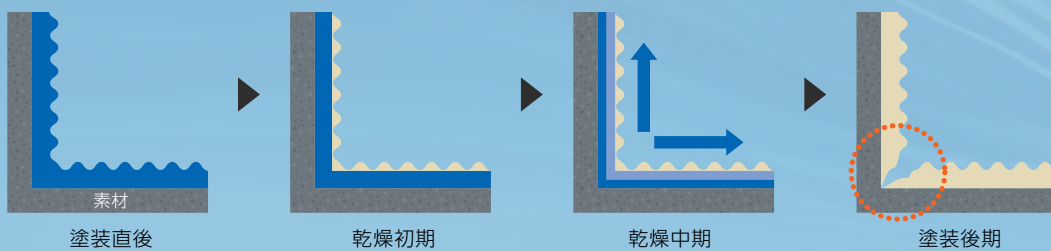
■塗膜のワレ

早期の表面乾燥(皮バリ)と内部の中曇り状態からの体積収縮で、表層に微細なワレが生じるケースがある一方、
水性アジャストは表面の乾燥遅延により皮バリを生じさせ難く、微細ワレが発生しにくい。

水性アジャスト希釈








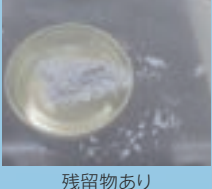


上水希釈



洗浄性効果

現場で使用した刷毛やローラーの洗浄性に優れています。

	浸漬による溶解性	刷毛評価押し洗い状況	洗浄後の残留物
水性アジャスト	 <p>評価 ○</p>	 <p>評価 ○</p>	 <p>残留物なし</p>
上水	 <p>評価 △</p>	 <p>評価 △</p>	 <p>残留物なし</p>
ラッカーシンナー	 <p>評価 ×</p>	 <p>評価 ×</p>	 <p>残留物あり</p>

- 【試験方法】 1) 塗板洗浄性評価: 鉄板に水性塗料を塗装後(5分後)、半乾き状態で浸漬した場合の塗膜状態を確認。
2) 刷毛洗浄性評価: 塗装後1時間程度放置した刷毛を液中で50回押し洗った時の洗浄性を確認。

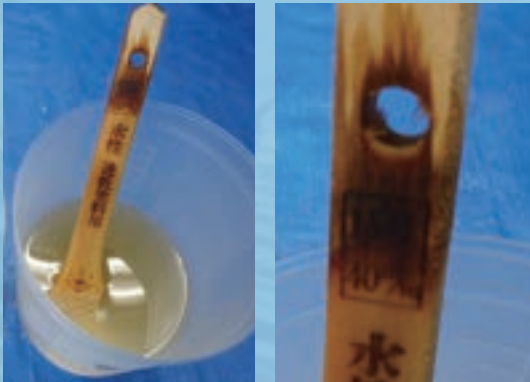
— 洗浄作業手順については動画にてご確認ください —

浸け置き腐敗性

浸け置き洗浄時の腐敗状態を比較。

水性アジャスト

カビの発生はなく
木柄からのヤニと思われるブリードが見られる。



上水

刷毛全体や液面上にカビが発生し
腐敗臭も強い。



- 【試験方法】 塗装後、洗浄した状態で2週間(夏季) 浸け置きした腐敗状態を確認。

水性アジャスト適用製品

水性アジャスト 容量:15kg ※各製品での容量換算は、容量(kg)×希釈率(%)で算出してください。

【下塗塗料】

製品名	荷姿(kg)	塗装方法・希釈率(%)目安		
		ハケ	ローラー	多孔質ローラー
アレスダイナミックフィラー	16	5～10	5～10	1～5
アレスダイナミック防水フィラー	16	－	－	1～5
アレスダイナミックシーラーアクア	15	0～10	0～10	－
アレスホルダーHG	16	－	3～10	2～5
アレス弾性ホルダー防水形	16	－	－	1～4
アレスホルダーEPO	16	－	5～10	0～3
アレス水性エポレジ	15	0～10	0～10	－

【上塗塗料】

製品名	荷姿(kg)	塗装方法・希釈率(%)目安		
		ハケ	ローラー	多孔質ローラー
アレスダイナミックTOP	15	3～5	3～5	－
アレスダイナミックTOPつや消し	15	0～10	0～10	－
アレスダイナミックMUKI	15	0～8	0～8	－
アレスダイナミックMUKI中塗	15	0～8	0～8	－
アレスダイナミックノキエ	16	0～10	0～10	－
アクアセラシリコンOne	15	5～10	5～10	－
アレスアクアシリコンACII	15	3～5	3～5	－
アレスシルクウォール	15	0～10	0～10	－
コスモシリコン	15	3～8	3～8	－
ダイナアクセル	15	0～5	0～5	－
デコラフレッシュ	18	0～10	0～10	－
アレスクールプラスウォール水性Si	15	3～8	3～8	－
アレスアクアフッソII上塗	15	0～10	0～10	－
アレスアクアフッソ中塗	15	3～10	3～10	－
アレスアクアセラフッソII上塗	15	0～5	0～5	－
アレスアクアセラフッソ中塗	15	3～8	3～8	－
アレスアクアレタン	15	3～10	3～10	－
コスモレタン	15	3～12	3～12	－
アレスアクアビルド	16	－	10～15	0～2
アレスアクアビルドつや消し	16	－	8～12	0～3
シリコンテックス	16	－	10～15	0～2

※上記適用製品以外の製品へのご使用は避けてください。

施工上の注意事項

【希釈時の注意】

- **溶剤系塗料の希釈には使用できません。**
- **他社の水性塗料へは使用しないでください。**
- 水希釈より粘度が下がりがやすいので、様子を見ながら希釈をしてください。
- 下地調整材に使用する場合、モックアップ等で必ず模様を確認してください。
- 洗浄に使用した液は希釈剤として使用しないでください。
- 本品で希釈した塗料は必ず当日中に使い切ってください。
- 本品と上水を併用して希釈すると効果が弱くなります。
- 下地調整材を塗装する場合、途中で希釈量を変えると模様が揃いにくくなる可能性があります。

【塗装時の注意】

- **本品で漬け置きしたハケを使用する場合、余分な洗浄液をふき取ってから使用してください。**
- **低温環境で使用すると乾燥が遅くなる可能性があります。**
- しっかり混合していない状態で塗装すると、色別れ、タレ、再溶解などの不具合の原因になります。
- 希釈量が多いと粘度が低くなり、タレが発生する可能性があります。
- 塗料の乾燥は著しく遅くならないので、塗継ぎは出来るだけ速やかに行ってください。
- スプレー塗装にも使用可能です。
- さざ波模様、デザイン塗装時は希釈量を変えずに塗装してください。

- 開放廊下等の準外部や外部での塗装に使用してください。
- 下地調整材のワレを抑制する効果がありますが、環境によって発生する場合があります。
- 洗浄に使用した廃液を希釈で使用しないでください。

【洗浄時の注意】

- **洗浄に使用して汚れた液は繰り返し使用することは可能ですが、繰り返し使用することで洗浄機能が低下します。**
洗浄剤入れ替え目安: ①5回程度使用した場合、②洗浄剤の粘度が高くなった場合
- **溶剤系塗料を使用した道具は洗浄しないでください。**
- 2液塗料は反応が進むと、洗浄できない可能性があるため注意してください。
- 根元が完全に硬化したハケを漬け置きしても効果が得られない可能性があります。使用後は速やかに洗浄してください。
- ハケ等の塗装道具を漬け置き洗浄をする場合は、臭気の漏れない蓋つきのポリ容器で行ってください。
- 多孔質ローラー、デザイン用のローラーは長時間漬け置きすると膨潤する可能性があるため、その場でモミ洗いしてください。
- 漬け置きするとハケの木柄からヤニが発生する場合があります。(塗装には影響ありません)
- ラッカーシンナーや塗料シンナー類とは混合しないでください。本品のみで使用してください。

使用上の注意事項

【保管方法】

- 洗浄などで再使用する場合、必ずポリ容器で保管してください。
- 金属容器で保管すると錆が発生する可能性があります。
- 使用時は換気のいい場所で取り扱い、使用後の容器は必ず密栓してください。
- 高温環境下に長時間置くと、容器が膨張する可能性があります。
- 氷点下以下になる環境で保管すると凍結する可能性があります。
- 使用中の洗浄液に上水を混ぜると防錆効果が弱くなり腐敗する可能性があります。
- 本品で希釈した塗料を貯蔵すると、増粘などの変質が起こる可能性があります。
- 長期漬け置き保存すると刷毛のコシ感が損なわれる場合があるため、短期間の漬け置き保存を推奨いたします。

【処理方法】

- 本製品を処理する場合、必ず廃塗料や廃溶剤として廃棄してください。

【その他注意事項】

- 汚れた塗装した面を本品で清掃する場合、溶解、艶ビケ等が起こる可能性があります。
- 希釈や洗浄等で本品を使用する場合、保護手袋を使用してください。
- 目に入った場合、は流水で洗眼した後、速やかに眼科を受診してください。
- ビニル製品などの清掃は表面を溶解する恐れがあるため、使用をお控えください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp



お近くの営業所は
こちらから!

各種カタログご覧になれます。